

あすなる

東京都港区三田3-2-20 TEL 03-3455-6006
http://oak47-02.web.infoseek.co.jp

OKI社長の新聞報道
「社員は自信と誇りを」

OKI・川崎新社長が9月8日、就任後初の経営方針（営業利益率5%など）を発表。新聞は「新社長の社内評価は『気さくな性格で会社が明るくなった』。顧客の求めに敏感に反応する提案型の経営方針を掲げる」。さらに「『社員は自信と誇りを持って欲しい。OKIは社会にとって必要、役に立つ企業だ』。新事業への意欲も見せる」と、新社長を紹介している。
大幅賃金カット
トで私たちの生活は大変！生活再建もしっかり計画して欲しいですね



衆院選挙、国民の怒り爆発 自民党政治に「さよなら」 政権交代 新しい国づくりの開始 OKIも働かせ方の大転換を

自公政権に ノーの審判

衆院選挙で国民は自公政権にノーの選択をしました。若者には派遣法による賃金・雇用破壊、高齢者には後期高齢者医療制度と自公政権は財界には手厚くお手盛りし、国民に痛みばかりを押し付けるもので国民の怒りが、民主党への地すべりの結果をもたらした。国民は景気を良くしてほしい。正社員が当たり前で仕事がしたい。

年齢で医療の差別をしないでほしい。国産の安全な食品を提供してほしい。当たり前の要求であふれています。

八王子地区は2000人規模に縮小しました。また八王子地区構内の沖デジタルイメージング（沖データの子会社・約1000人）は高崎市へ移転の予定で、家族を含めると大変な人数の移動で多くの困難がともなう計画です。

政治が変わり 職場が変わる 働かせ方働かき方の チェンジを

沖電気の企業行動憲章では理念では働きやすい職場環境、社員の尊重、人権の尊重が明記されており職場の働きやすい環境への改善が求められています。

通信事業では、強い商品創出に注力する。経営スピードを常に追求すると言うことでネットワーク部門の分社化がなされました。しかし最近、配置転換、退職勧奨などの相談が

自公政権は大企業の意向に沿って、賃金・雇用・労働時間の規制緩和を進め、いつでも、

これらを変えてほしいという切実な思いが

新政権を誕生させました。今、日本と職場をチェンジする時です。

悪化する暮らしを改善して欲しい・・・新政権と企業に改善を切望

「国民生活に関する世論調査」 (複数回答)

不安の順位

| | |
|---------|--------|
| 老後の生活 | 54.95% |
| 自分の健康 | 49.20% |
| 今後の収入など | 43.90% |

政府への要望

| | |
|--------------|--------|
| 医療年金改革 | 70.80% |
| 景気対策 | 62.50% |
| 高齢化対策 | 58.10% |
| (内閣府09年8月調査) | |

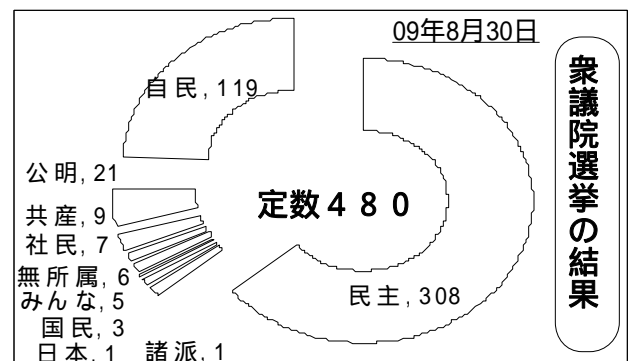
生活全般についての満足度は？
国内総生産(GDP)が上昇しても国民には還元されず生活満足度は低い。
暮らしよい方向に向かっていますか？
そう思う・全くそう思うは10.2%に激減。そう思わないは89.5%に。

老後に明るい見通しを持っていますか？
老後に不安を持つ人激増。明るい見通しを持っている人は11.8%に激減。

休日以外の日に5時間以上自由時間はあるか？
2~3時間が最も多く(22.3%)で、5時間以上は20.8%で07年に比較して5.0%減少。

日ごろストレスを感じるか？
感じる人は56.9%、感じない26.1%で30.8%高い。

(内閣府08年国民生活選好調査結果から)



最近の夏は、冷房設備の普及で夏太りする人も多いと聞きます。これからの季節は、体力の回復や減量のためにウォーキングをしますが、以下の注意が必要です。
膝の悪い方は、医者に相談してください。早めの水分補給、のどが渇いてからでは遅すぎます。靴は普通の運動靴で十分ですが、自分の足に合ったものを選んでください。開始前は、ストレッチで体を柔らかくする。歩く基本は、背筋を伸ばしお尻を軸に踵から着地へ。その軸に踵から着地するよう、早さは、適度の歩幅が必要で、しなやかな歩幅が必要です。汗をかきながら歩くと、一日の合計は一万歩。夜は車や自転車など危険なもので早朝散歩がよいでしょう。

人間の使い捨ては許せません。

過労うつ病労災 解雇裁判

2裁判が

勝利判決

東芝は健康を戻せ



重光由美さん

「過労うつ」労災認定 東芝の責任明確に 長時間労働などでうつ病になったのに労働災害と認めないのは不当だとして東芝の重光由美さん(43)が、埼玉・熊谷労基署の不支給処分を取り消しを求めていた裁判で、東京地裁民事三十六部(渡邊弘裁判長)は五月十八日、労働災害と認める判決を出しました。

解雇を無効とした昨年四月の東京地裁判決に続いて東芝側の責任が問われる判決です。

重光さんは、埼玉県深谷市の工場で技術職として液晶プロジェクトに従事し、厳しいノルマのもとで、月百時間を超える残業や休日出勤が急増。うつ病となり〇一年九月から休業を余儀なくされ、〇四年九月、休職期間満了で解雇されました。

東芝では成果主義で過重労働が広がり、精神疾患が増加。重光さんの職場でも同僚二人が自殺した。

また、熊谷労基署は労災と認めなかったため、〇七年七月提訴しました。

裁判長は「心理的負荷の大きい業務に従事し、厳しいスケジュールが課され、追い詰められた状況にあった。精神障害を発生させるほど過重だった。業務以外に要因は認められない」と述べた。重光さんは「解雇裁判に続く勝訴でほっとしている。東芝は解雇を撤回し解決してほしい。国は労災申請しなればならない人が減るような対策をとってほしい」と語りました。

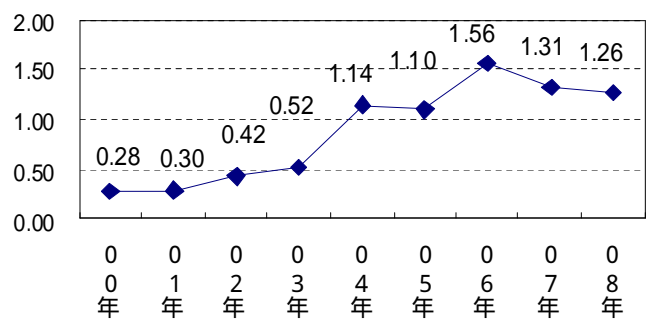
《沖電気を考える》 第24回

厳しい職場環境 長期療養者比率が1%超の異常

相次ぐリストラで 心と身体が悲鳴

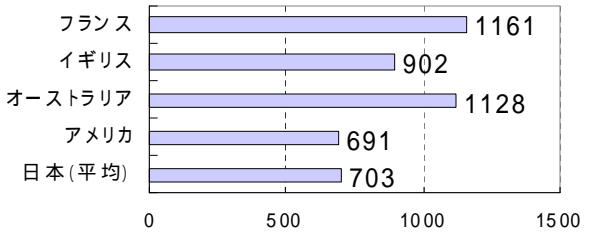
赤字 リストラを繰り返す経営は働く人々の健康に深い傷をつけています。異常値と言われる1%を越える状態で深刻です。下記グラフは当年12月に3ヶ月以上欠勤(長期療養)している人の沖電気労働組合員の比率です。働き方の改善が必要です。(OAK調べ)

沖電気の長期療養者比率 %



アメリカも7月に約1割引き上げ、7ドル25セントになった。日本は生活保護を下回る水準で改善が遅れている。グラフは7月末での為替レート換算による数値。

各国の最低賃金 (時給:円)



日本は欧米に比べて最低賃金が低いのだ!



労組幹部も退職で 補充の執行委員選挙

【OKIセミコンダクタ】

08年10月に、OKI半導体部門(グループで約6千人)がロームに買収されてから2次の希望退職が強行され、約3400人になりました。OKIセミ本体も半減して約850人になり、労働組合の幹部も次々に退職し定員5人の執行委員は3人が辞めて9月11日にはその補充選挙が行われました。八王子地区の構内には関連会社の社員も働いていますが、診療所も廃止され、食堂も1階部分は閉鎖され、利用者も約3百人ぐらいに減るなど、寂しい状態になっています。残っている従業員だけではなく八王子市役所(行政)や市民からも、事業所の存続を望む声は根強い。

新型インフル 対策の徹底を

【富岡】

九月に入って新型インフルエンザをめぐって患者や死亡者が増えるニュースが連日の様に報道され、職場でも心配されています。定点医療機関での受診患者が「1」を超えると流行期に入ったと見られ、全国平均で「2.5」、群馬でも「1.1」になる事態です。地域の学校で新型インフルの感染が発表されていることもあり、学校に通う子供や孫がいる家庭ではなおのこと心配です。感染状況はどうか、いかに予防するかなど、得てきた情報の交換が日常になっています。

会社でも上司から「インフルエンザ対策」について話しがありました。家族が罹った場合にはどうするのか、どうしなければならぬのか、などもう少し詳しく時間をかけて対策や対応を徹底して欲しいとの声が聞かれます。

派遣社員から 契約社員になったけれど

【本庄】

本庄工場ではピーク時には約250人の派遣社員が働いていたが、現在はその四分の一程となっている。そんな工場の中で、派遣社員を中心にした生産ラインがある。最近1ラインが増設され、3ラインに働く派遣者は40人ほど、その中で正社員はわずかに5人です。正社員の代替としての派遣労働は禁止されているが、その典型ともいえる職場だ。

8月、ライン稼働から3年が経過し、12名の派遣社員がOKI社員(契約)となった。しかし、派遣当時の未消化年休は引き継がれず、年休ゼロからのスタートだという。定年・再雇用制度では年休が引き継がれているが、派遣社員の弱みを利用して、卑劣な処遇ではないでしょうか。

在職死亡多発!

【OKIネット】

東京・門前仲町にあるOKIネットワークインテグレーション(OKIネット)の職場では、8月から9月にかけて労働者の在職死亡が立て続けに起きました。

一人はAさん35歳で、8月3日、門前仲町のビルから飛び降り自殺したとのこと。職場に衝撃が走りました。職場のビルから身を投げるとは、いったいAさんに何があつたのでしょうか。

のでしょつか。

OKIネット出向後うつ病を発病し、休職期間を経て仕事復帰の途中だったとのこと。さらに9月2日、今度はBさん45歳の在職死亡の訃報が流されました。同じ職場で働いてきた者として、お二人に心よりご冥福をお祈りします。

それにしても、同じ職場の中で、まだこれからという労働者がなぜ次々と亡くなっているのか、単に個人的な問題とは思えません。この間のリストラ構造改革の中で、職場環境とメンタルヘルスの悪化が深く影を落としている事が懸念されます。働く者の命と健康に関わる問題です。会社も沖労組としても問題を重く受けとめ、職場環境を改善し、このような悲劇を生まない職場にしていけることが喫緊の課題になっています。

「ご支援・アドバイス ありがとうございます」

派遣会社倒産・未払い賃金 支払われなかった。派遣会社・リセントから沖電気本庄に派遣されて働いていた者です。3月に突然会社の倒産で、解雇になり、気が動転していたところ、「沖電気の職場を明るくする会」から、未払い賃金は国の「労働者健康福祉機構」での「立替払い制度」(未払い賃金の8割の支払い)を利用しようなど、色々とお身に合ったアドバイスや、会社代理人や労働基準局などへの要請などもしていただき、感謝しています。

先日、「機構」から振込みがありホットしました。お礼の内容の要約です。